

# 令和2年度 学校関係者評価

吉岐市立盈科小学校

評価者： 学校支援会議委員 13名

## 1 教育活動全体について

- 一人一人に向き合った教育ができていると思う。
- 子供の学力向上、精神力向上、体力向上と幅広い分野で熱心に取り組まれている。
- 家庭訪問の代わりに、個人面談が実施されたのは良かった。
- 授業参観は、支部別に分けて実施するなど工夫があり、先生方は大変だったと思うが、保護者としてはありがたかった。
- コロナ禍で大変な1年であったが、子供たちのために最善を尽くしてもらっている。
- 多くの制約のある中、子供たちの元気一杯の成長を感じることができた。
- 手洗い、うがい、手指消毒、学校内の消毒、換気等徹底しており、感染症予防対策ができている。
- 長縄記録会は、子供たちの体力向上、クラスや友達との団結力につながる良い活動だったと思う。
- 学校便りを読むと適切な教育活動がなされていると思う。
- 活動以前に、行事の内容の見通しが持てたので良かった。
- ◇学校、子供、地域が一体となり、よりよい盈科小を目指していきたい。
- ◇コロナ禍でなくても、運動会は、今年度のように午前中開催で良い。

## 2 教職員について

- コロナ禍の中で、学習や行事等の工夫や実践に、先生方の柔軟な対応力を感じた。
- 担任はもちろんのこと、全ての先生方が子供一人一人を温かく見守っている印象を感じる。
- 先生方が、学級・学年等を超えて、子供たちをきちんと受け止めているので、安心して学校に通わせることができる。
- 先生方一人一人が、子供と向き合い、全力で取り組んでいる。
- 学校便り、学年・学級通信、通知表の先生の言葉から、子供一人一人をよく見られていることがわかる。
- 子供との会話から、先生を信頼していることが感じられる。
- 学校便りや子供たちの元気な登下校の姿から、先生方の熱心な教え方が伝わってくる。
- 電話対応や学校訪問時の笑顔や声かけの対応が気持ちよい。(敷居が低くなった)
- 子供たちへの対応を見ていると、先生方、支援員の方々の頑張りが伝わってくる。
- 学習面、健康面の向上を目指して、一生懸命取り組まれていると感じる。
- 学校行事(運動会)の様子を参観する中で、先生方のまとめりや熱心な姿を見ることができた。
- ◇長時間労働になっていないか心配である。→ 昨年度よりは改善されている。
- △子供たちの学力を定着させる努力を継続してほしい。
- △子供たちの心に届く道徳教育及びメディア教育を、先生方全員で、さらに取り組んでほしい。
- △子供が多くて大変だとは思いますが、どの子の声にもしっかり耳と心を傾け、対応してほしい。

## 3 児童について

- 明るく元気、素直で優しい、そんな子供を多く見かける。
- 学校での出来事などを素直に話してくれている。
- いろいろな面でいつもと違う年だったと思うが、子供たちがそれを理解し、前向きに頑張る姿に頭の下がる思いだった。
- 子供たちの挨拶はしっかりできている。
- 挨拶が苦手な子でも会釈など別の見せ方で努力している様子がうかがえる。
- 登下校の交通ルールも守られている。
- 挨拶をしたら、元気に返してくれる子供たちが増えた。
- 横断歩道で止まると、渡り終わった子供たちは必ず頭を下げてくれるので気持ちがいい。
- 子供たちの元気な挨拶場面に接するととてもうれしい。大人も真似しなければならない。

○横断歩道の渡り方など注意をしたことがあったが、素直に聞き入れる姿が見られた。  
◇不登校等の状況は？ → 現在、不登校はない。  
△歩道を通らずに車道を通っている児童を見かけるので、指導が必要である。 → 指導済  
△一対一では、挨拶ができるが、集団になるとできない子もいる。  
△車道で、リップスティックなどで遊んでいる子供がいる。危険なので指導が必要である。→指導済

#### 4 教育環境について

○コロナ禍の中で、感染拡大防止の対応が大変だったと思うが、しっかりとなされている。  
○施設設備等、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。  
○都市部と違い、勉学・スポーツの面の教育環境には、乏しい面はあると思うが、その他の面では申し分ないと思う。  
◇教育環境は、自分の頃から比べると素晴らしいと思う。ただ、安全中心ではなく、子供たちも安全を考える場の提供があるとよいと思う。  
△体育館裏のトイレが老朽化している。 → 改修要望を行う。  
△旧交通ホテルの老朽化が心配である。 → 撤去要望を出している。  
△時々、授業中に騒々しくなると聞くことがあるので、落ち着いた中で授業ができるようになればと思っている。

#### 5 その他

○ホームページに「盈科っ子のがんばり」として、教育活動の新しい情報が掲載されており、いつも楽しみに見ている。  
○学校便りに他の先生方の考えも掲載していただけたらと思う。 → 検討する。  
◇子供の性格も違い、挨拶の実態も違いが見られるが、大人から挨拶をし、できるように仕向けていくことも必要だと感じる。  
◇歩いて登校させたいが、不審者等の心配もあり、不安に思っている保護者も多いのではないかと感じる。地域と連携して登下校の安全について、対策は講じられないだろうか。  
◇新しい生活様式に沿った教育環境が強いられる。教職員も保護者も全ての意見に耳を傾ける必要がある。  
◇虹の原特別支援学校が併設されており、「ノーマライゼーションの社会」が経験できることは、素晴らしいと思う。  
◇今年度は、コロナウイルス感染症の関係で、学校も家庭も大変だったと思うが、お互いの立場や状況を考えながら、取組が進んでいったと思う。さまざまなことに感謝している。  
◇保護者への連絡の基準はあるのか？ → 明確な基準は設けていないが、子供の心身の状況や事案の緊急性、重要性等を考慮して連絡している。善行についても連絡するようにしている。  
◇コロナ関係で困っていることはないか？ 教育活動への影響や誹謗中傷など心配し、事前の対応をしてきた。 → 今のところ問題はない。家庭の経済状況の変化等は把握できていない。  
◇働き方改革の視点で、通知表等の内容の簡略化は考えていないか？ → 担任の保護者との貴重な連絡の資料となるので、現在のところこれ以上の簡略化は考えていない。  
◇先生方の働き方改革の視点から、保護者からの提案等でできるものがあれば考えていきたい。